

退職社員の一括削除について

[随時処理]-[退職社員一括削除]メニューで、退職社員を一括で削除することができます。

削除した退職社員の情報、参照することができなくなります。

過去年のデータを集計する可能性がある場合には、退職社員は削除しないでください。

〈過去年のデータを集計する場合の例〉

- ・ 4月に労働保険の申告を行うために、「前年4月～当年3月」の1年間の雇用保険の金額を[労働保険]-[労働保険申告資料]-[労働保険申告書資料]メニューで確認する場合
- ・ 年末調整、社会保険料の徴収額に誤りがあり、当時の給与処理・賞与処理・年末調整処理の金額を確認する場合



【奉行Edge マイナンバークラウドをご利用の場合】

社員情報を削除すると奉行Edge マイナンバークラウド上に登録されている個人番号情報を含む利用者情報も削除されます。

奉行Edge マイナンバークラウド上で個人番号を保管しておく場合には、退職社員を削除しないでください。

【奉行Edge 年末調整申告書クラウドをご利用の場合】

社員情報を削除すると奉行Edge 年末調整申告書クラウド上に登録されている利用者情報も削除されます。

過去年の申告書データを年末調整申告書サービス上に残しておく場合には、退職社員を削除しないでください。

【人事奉行をお使いの場合】

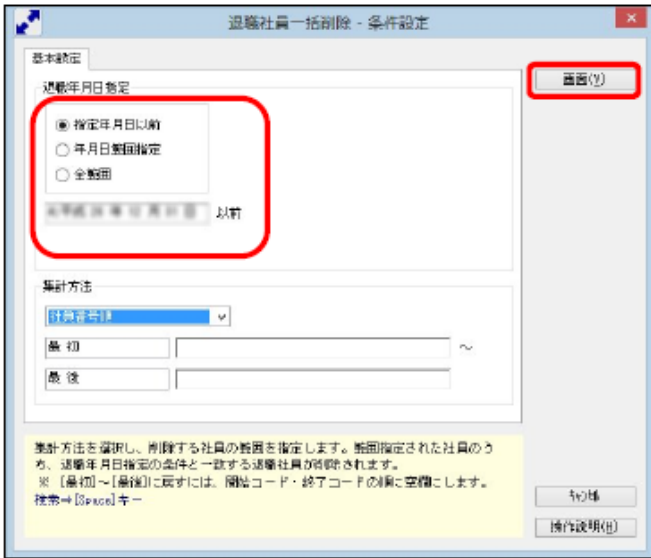
人事奉行と同一データベースを使用している場合には、給与奉行側で退職社員を削除すると、人事奉行でも削除されます。

そのため、履歴管理を行っている場合には、退職社員は削除しないでください。

①あらかじめ、[随時処理]-[バックアップ]メニューで、新規にバックアップを作成してから削除してください。

また、ここでとったバックアップは、今後上書きしないようご注意ください。

②[退職社員一括削除-条件設定]画面の[基本設定]ページの「退職年月日指定」で、いつ時点までの退職社員を削除するかを指定して、[画面]ボタンをクリックします。

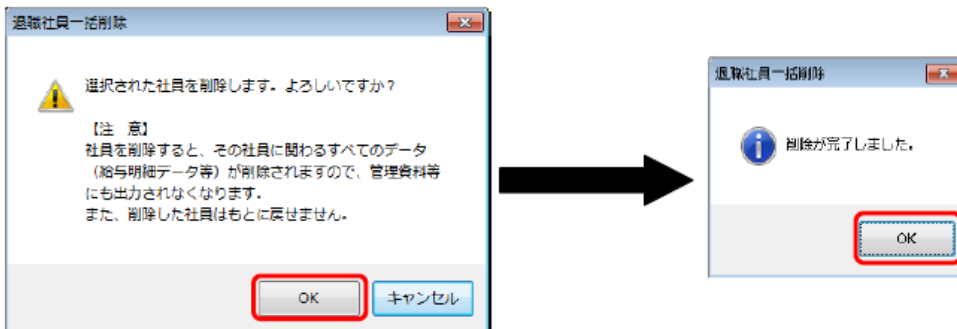


③削除する社員にチェックをつけて、F2[実行]キーを押します。



④確認メッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。

削除完了後に確認メッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



以上